

【活用にあたって】

「キャリア教育」という用語が中教審答申に初めて登場したのは1999年12月。そこから様々なプランが示されたり手引き書が作られたりして現在に至ります。文科省は、「キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけである。」としており、学習プログラムの枠組み例では、小学校低学年から高等学校までの例示がされています。

学校現場ではこうした記事などを用いて指導していくのが良いのではと考え、また進路指導という点から高学年を対象として用意しました。

解答例

問1：(園児)(小学生)

(美容師)(和菓子職人)(アクセサリー作家)

問2：①(三つ編み)(編み込み)

②(髪の毛の巻き方)

問3：自分の思いが書けていればよいと思います。

発展：幼児や小学生から職業体験ができることや、ご当地グルメなどのイベントも同時に行われていて参加しやすいことなど、自分たちなりの視点が明確に話し合えるとよいと思います。